

令和7年9月9日 開会

令和7年 第3回 東松島市議会定例会

議員一般質問通告書

東松島市議会

《 議員一般質問 目次 》

順位	氏名	件名	頁
第1位	佐藤 雄則	1 農業振興策について	1
		2 「東松島市ブランド」の創設について	2
		3 二地域居住先導的プロジェクト実装事業について	3
第2位	千葉 修一	1 7月30日の避難体制について	4
		2 安全対策について	5
第3位	齋藤 徹	1 米軍主催訓練での本市の対応について	6
		2 国際交流の新たな展開を	7
第4位	五野井敏夫	1 中学校部活動の地域移行について	8
		2 クマ・シカ・イノシシ等の被害、出没に対する安全対策について	9
		3 ㈱東松島観光物産公社の経営に対して市長の見解を伺う	10
第5位	浅野 直美	1 新子育て支援センターの設置について	11
		2 三陸沿岸自動車道通行料無償化について	12
		3 2歳児以下保育料の無償化について	13
第6位	土井 光正	1 カムチャツカ大地震による津波警報発表に伴う対応について	14
		2 人口減少対策について	15
		3 今夏の猛暑の影響について	16

順位	氏名	件名	頁
第7位	渡邊 克己	1 特別名勝松島の規制緩和について	17
		2 宮戸から野蒜駅間の交通環境の整備について	18
		3 有害鳥獣駆除対策について	19
第8位	井出 方明	1 新しい地方経済・生活環境創生交付金（いわゆる第2世代交付金）の活用について	20
		2 核燃料税交付金について	21
		3 自衛隊松島基地との共存共栄及び連携について	22
第9位	千葉 信哉	1 浜市漁港について	23
		2 滝山公園について	24
		3 夜間のバイクの騒音について	25
第10位	大橋 博之	1 読書立国という言葉について	26
第11位	阿部 秀太	1 保育事業について問う	27
第12位	熱海 千鶴	1 小中学校のプール利用と水泳指導等について	28
		2 「道の駅東松島」の営業状況と更なる利用者を増やす施策について	29
第13位	櫻井 政文	1 市制施行20周年の議会史への予算付けはいかに	30
		2 子ども・若者支援策について	31
		3 小・中学校の学力低下対策を問う	32
第14位	福田 敬一	1 ブルーインパルス退役機設置について	33
		2 東松島夏まつり及び松島基地航空祭について	34

【質問者数 14人・質問件数 34件】

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>佐藤雄則</p>	<p>1. 農業振興策について</p>	<p>本市の基幹産業である農業を持続可能にしていくことは、本市の将来を築く上で欠かせない課題である。近年、気候変動や燃料費・資材費の高騰など、農業を取り巻く環境は厳しさを増しており、これらの課題に対する振興策について、次の点について伺う。</p> <p>(1) 米価の価格安定について 令和の米騒動以来、米価は高く推移し、いしのまき農協では、令和7年度産米の概算金をひとめぼれ60kg当たり2万7千円と決定したが、米価が高くなり米を多く作付けする農業者が増えた場合、需給バランスが崩れ米価下落が懸念される。生産者の所得安定を図るために、どのような価格安定策を講じるのか。</p> <p>(2) 高温障害対策に強い作物の導入について 地球温暖化が進行し、高温による米や野菜の品質低下や収量減が懸念されている。気候変動に対応するため、高温に強い耐暑性品種の導入、新しい栽培技術支援や対策をどのように進めていくのか。</p> <p>(3) モミガラ処理問題とJ-クレジットについて 稲作においては、大量に発生するモミガラ処理が課題となっている。持続可能な循環型農業を推進するため、モミガラの堆肥化、燃料化、炭化など、脱炭素に資する取組がJ-クレジットとして評価される可能性について、どのように認識しているか。</p> <p>(4) 米のブランド化について ふるさと納税での米は現在人気が高い。本市のふるさと納税額を増加させるためには、米のブランド化が不可欠であり、付加価値を高めることが必要である。例えば、モミガラを炭化して田に施用し生産された「循環米」としてのブランド化、脱穀しないモミの状態を保管し、販売直前に脱穀精米することで美味しさをアピールできる「今摺米」としてブランド化することは、モミガラ発生時期の調整にもつながる。生産者の所得安定向上につなげるためにも、本市産米や野菜も含め、ブランド化をしていく考えはあるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>佐藤雄則</p>	<p>2. 「東松島市ブランド」の創設について</p>	<p>近年、人口減少や交流人口の低迷が自治体での課題となる中、地域の魅力を高める地域ブランドの確立は不可欠である。</p> <p>本市は、日本三景・松島の一部を構成する豊かな自然、新鮮な海産物、農産物の宝庫であり、ブルーインパルス基地のまち、そして東日本大震災からの力強い復興の歩みなど、他地域にはない多くの潜在的魅力を持っている。</p> <p>それらの個々の魅力を本市全体として統合された物語やイメージして描き「東松島ブランド」として確立し、発信していくことが必要ではないか。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 東松島市における地域ブランド形成の必要性について、どのように認識しているか。</p> <p>(2) 本市では、今後どのような方向性で、東松島ブランドを確立していくのか。</p> <p>(3) 地域ブランド形成に向けた協議会やワーキンググループの設置が必要と考えるが、設置する場合はどのように構築設置するのか。</p> <p>(4) 特産品等の東松島市公認ブランドの認定制度の必要性及び制度創設について、市長の見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要 旨
<p>第1位</p> <p>佐藤雄則</p>	<p>3. 二地域居住先導的プロジェクト実装事業について</p>	<p>国土交通省が公募した「二地域居住先導的プロジェクト実装事業」に、一般社団法人次世代政策デザイン研究所（東京都豊島区）が本市と静岡県下田市で推進する取組が採択（2025年3月27日）され、全国に先駆けた実証・支援体制の構築が期待されている。このような状況をふまえ、本市の特性を活かした政策の推進が急務であると考え、次の点について伺う。</p> <p>(1) モデル地域として選定された意義をどのように捉え、どのような目的で二地域居住を推進していくのか。また、本市の基本的な方針について伺う。</p> <p>(2) 一般社団法人次世代政策デザイン研究所が実施する「コミュニティマネージャー育成型二地域居住推進コンソーシアム」として採択されているが、一般社団法人次世代政策デザイン研究所と本市の立場、役割について伺う。</p> <p>(3) 「コミュニティマネージャー育成型」となっているが、本市でのコミュニティマネージャーはどのような役割を担い、どのように育成を行っていくのか。</p> <p>(4) 二地域居住を進めるためには、住まいや仕事、地域との関わりを円滑にする支援が必要である。具体的な支援策を検討・実施すべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(5) 国のモデル事業の枠組みの中では、支援の核となる「指定法人」の設置が求められており、本市においても市内外の民間・地域団体、観光、農業や漁業関係団体などに指定法人に加わっていただく体制の構築が必要である。そうした団体との連携、呼びかけをどのように進めていくのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>千葉修一</p>	<p>1. 7月30日の避難体制について</p>	<p>カムチャツカ半島付近の大地震により津波警報が発表されたが、市民の多くは揺れを感じなかったため、避難をどうすればいいのか判断できなかったとの声も聞かれ、津波防災における課題が示された。このことから、以下について伺う。</p> <p>(1) 自主避難された方の受入体制は、整っていたのか。また、避難者が多数の場合の避難所の開設について。</p> <p>(2) 本市及び市民並びにテレビ・ラジオ等の認識の違いがあったのではないか。</p> <p>(3) 学校の避難体制と連携について。</p> <p>(4) 今回のように、揺れが感じられない時の津波警報の避難体制について。</p> <p>(5) 市としては、住民の命を守るために警報時の迅速で確実な情報伝達、実際の避難行動の把握と検証が必要と思われるがいかに。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>千葉 修一</p>	<p>2. 安全対策について</p>	<p>本市においては、これまで東日本大震災の教訓を踏まえ、防災を中心とした安全対策が進められてきた。これからの市民の安心・安全を守るための安全対策の強化について、以下に伺う。</p> <p>(1) 歩行者の安全確保に向けた点検・改善は行われているか。 (例えば、市道矢本中央線と県道石巻鹿島台色麻線の交差点)</p> <p>(2) 側溝や水路の転落防止の柵の設置は考えているか。 (例えば、市道七反谷地東西64号線周辺)</p> <p>(3) 市内の公園における大木の現状調査(危険木や老木の把握、道路へのはみ出し)は、どの様に実施しているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>1. 米軍主催訓練での本市の対応について</p>	<p>米軍が主催する訓練レゾリュート・フォース・パシフィックに本市所在の航空自衛隊松島基地も参加し、本市も最大限の協力の姿勢を示し、我が国と米国との国防分野における連携強化に助力できたことは、大変好ましく思う。</p> <p>今後も、米軍主催の訓練に松島基地と本市が関与する可能性があることから、本市の対応等について、以下に問う。</p> <p>(1) 前回のヴァリアント・シールド2024で展開した戦闘機とは異なる戦闘機が、松島基地で訓練を実施したが、騒音等の市民、周辺自治体からの苦情等の状況については、どのようであったか。</p> <p>(2) 訓練に先立ち、本市として関係機関に要請・要望を行った結果、どの程度受け入れられたのか。</p> <p>(3) 駐留した米兵による経済効果等、本市にとってプラスとなったものはあるか。</p> <p>(4) 市民団体が中止を求める申入書を本市に提出したことは聞き及んでいるが、今後も同様の訓練が実施される可能性がある中で、同様の申入書等が提出された場合、どのように対応する考えか。</p> <p>(5) 中止を求める申入書が提出される中で、本市は最大限の協力を実施したが、当然国には評価してもらう必要性を感じる。国に対して、本市の環境整備等に今まで以上の支援を求めるべきと感じるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>2. 国際交流の新たな展開を</p>	<p>本市において、夜間のスーパーマーケットやディスカウントストアなどで、東南アジア出身と思われる方を目にする機会が珍しいものではなくなっている。</p> <p>今後も国際情勢次第ではあるが、外国人労働者が更に増加する可能性も考えられる。言葉や生活習慣の違いを抱えながら、働き手不足の解消に貢献している外国人労働者に対し、行政として細やかに支援していく事に加え、関係性が深まっている国への国際交流の必要性があるのでは無いかと思慮して、考えを伺う。</p> <p>(1) 外国人労働者の生活相談体制、共生の仕組みづくりをどのように整備していくのか。また、地域社会に馴染めるように支援する体制を行政としてどのように整備するのか。</p> <p>(2) 市民主体の国際交流団体への支援を強化すべきと考えるが、いかがか。</p> <p>(3) 過去に韓国やデンマークなどとの国際交流の機会があったが、今後、新たに国際交流を実施する考えや意欲はあるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>1. 中学校部活動の地域移行について</p>	<p>文部科学省、スポーツ庁では、令和3年度から休日部活動の段階的な地域移行や合理的で効率的な部活動を推進している。</p> <p>学校教育現場では、教員の長時間労働や生徒の多様なニーズに対応するため、部活動の在り方が見直されている。</p> <p>本市においては、令和4年度から地域移行を徐々に取り組んでいると聞き及んでいるが、その実態と状況について確認したい。また、以下の点についても伺う。</p> <p>(1) 部活動を地域移行するメリットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒側のメリット ・教員・学校側のメリット ・デメリット <p>(2) 指導者の確保は万全か</p> <p>(3) 全面移行は何年頃の予定か。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>五野井敏夫</p>	<p>2. クマ・シカ・イノシシ等の被害、出没に対する安全対策について</p>	<p>近年、特に東日本大震災以降、本市においてクマ・シカ・イノシシ等の出没に対する不安や農作物に対する被害が目に見えて増加している。また、ハクビシン等の被害も以前より増している。特に、クマ・シカ・イノシシ等出没は、住民生活にも大きな不安を与えている。これらの動物は、毎日のように、出没の状況や人的被害が増加している等の報道がされている。本市においての出没情報や被害状況について、確認するとともに対応策を伺う。</p> <p>また、東松島市の猟友会等の構成人員について確認したい。網猟免許・わな猟免許・第一種銃猟免許・第二種銃猟免許などの免許所持者の養成等の考えはないか。加えて、免許取得に対する補助金制度を設ける考えはないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p data-bbox="177 315 276 353"><u>第4位</u></p> <p data-bbox="209 416 245 551">五野井</p> <p data-bbox="209 613 245 701">敏夫</p>	<p data-bbox="312 315 549 501">3. (株)東松島観光物産公社の経営に対して市長の見解を伺う</p>	<p data-bbox="587 315 1406 562">先般、(株)東松島観光物産公社の第32期令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業報告が議員個々に示された。本市が資本出資割合の50%以上占める大株主であり、道の駅の経営母体である当社の決算及び事業報告の内容について、市長はどう捉え評価し分析したか、見解を伺う。</p> <p data-bbox="1015 647 1374 685" style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要 旨
<p>第5位</p> <p>浅野直美</p>	<p>1. 新子育て支援センターの設置について</p>	<p>本市においては、子育て支援施設として2007年4月に開所した「ほっとふる」及び「あいあい」の2か所が設置されている。近年の猛暑から屋内施設の需要が高まり、天候や季節に左右されない全天候型の屋内遊戯施設を子育て支援センターとして有することは、子育て力を向上させ、本市の魅力を高めるために重要な役割を果たすものと期待する。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 令和3年6月の議員一般質問において、子育て支援センターを整備すべきと提案しているが、人口減少や少子化が進む中での解決策として、当該の2施設を統合し、子育て支援センター新設を改めて提案するが、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 山形市のシェルターインクルーシブプレイス コパルでは、障がいや年齢等の違いにかかわらず、すべての子どもが包摂される施設設計が人気となっている。本市においても検討すべきと考えるが、いかかが。</p> <p>(3) 遊びに付き添う保護者や祖父母が安らげるスペースも必要と考える。休憩エリア、カフェコーナー等を設けることも重要と考えるが、いかかが。</p> <p>(4) 子どもの脳の活性化や心身の健康には、多様な運動体験を与えることが効果的である。外遊びを取り入れるため、県内でもプレーパーク設置が進んでいる。本市でも取り組むべきであるが、いかかが。</p> <p>(5) 子育て世代のみならず、孫育ての祖父母や地域の高齢者も共に集い多世代交流に資する多機能な施設として整備すべきである。 「子どもはのびのび遊び、大人も寛ぎ交流する空間」として、市民のニーズや本市の規模に応じて新設すべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第5位</p> <p>浅野直美</p>	<p>2. 三陸沿岸自動車道通行料無償化について</p>	<p>令和3年12月に全線開通した復興道路である三陸沿岸道路は、多方面に重要な役割を担っており、本市にとって不可欠な道路である。</p> <p>鳴瀬奥松島IC～仙台港北ICまでの区間は有料であるが、仙台松島道路（鳴瀬奥松島IC～利府中IC）が無料化又は割引拡充した場合の経済効果は大きなものであると考えられるが、以下について伺う。</p> <p>(1) 本市から仙台圏に通勤通学している市民は、日常的に高速道路を利用する方も多く、燃料費高騰や通行料は家計に負担を与えている。無償化を含む柔軟な料金制度を関係自治体と連携し、国・県に要望すべきと考ええるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 本市には多数の物流運送業者が地域密着型として市内の地域経済に大きく貢献している。今後、EC市場の急成長により、市場の拡大傾向が続くと予測されており、物流の重要性を高めている。</p> <p>2024年問題による時間外労働規制等により、経営環境が厳しさを増している状況で、道路利用の負担軽減は地域経済の安定に直結すると考える。</p> <p>また、本市を横断する三陸沿岸自動車道は、インターチェンジ3ヶ所を有し、良好なアクセス環境であることの強みを活かし、無料化あるいは割引拡充措置は企業誘致においても更なるPRポイントになると思慮する。具体的な実現方法の検討を進めるべきと考ええるが、市長の考えを伺う。</p> <p>(3) 当該区間の償還終了後、国土交通省への移管により無料化となる可能性があるのか、その見通しについて伺う。あわせて、段階的な割引制度の拡充や料金見直しなど現実的な対応も含め、市民や事業者の声を踏まえた取組を進めるべきと考える。本市の今後の姿勢について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第5位</p> <p>浅野直美</p>	<p>3. 2歳児以下保育料の無償化について</p>	<p>人口減少対策が全国的な課題であるなか、移住定住の促進として子育て世代の支援は喫緊の課題であり、保育の質の向上と経済的負担の軽減は両輪で進めるべきである。</p> <p>特に、2歳児以下の保育料については、家庭の就労継続や経済的自立に直結するものであり、無償化の意義は大きい。</p> <p>現在、3歳児以上については国の制度により保育料の無償化が進められているが、2歳児以下の保育料は原則として自己負担である。持続可能な子育て支援の観点から、以下の点について、市長の見解を伺う。</p> <p>(1) 多子世帯や低所得世帯を対象とした段階的な無償化の導入、あるいは試行的な期間限定支援等を検討する余地があると考えます。今後の子育て支援施策の中で、2歳児以下の保育料軽減・無償化の可能性について、どのように考えているか。</p> <p>(2) 自治体間で差が生じないように、国の子育て政策として実現すべきである。市長会等を通じて国に働きかけるよう求めるが、市長の見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>土井光正</p>	<p>1. カムチャツカ大地震による津波警報発表に伴う対応について</p>	<p>7月30日にカムチャツカ半島で発生したマグニチュード8.8の地震は、津波警報を引き起こし、日本の太平洋沿岸にも影響を及ぼした。特に、定川の津波遡上動画については、東日本大震災の津波を想定させるようにNHKニュースで全国に放送されるほどであった。本市では、各市民センターを避難所として開設し、避難者を受け入れた。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 津波警報が発表されてから避難所に向かったが、避難施設が開場されていなかったと複数から聞き及んでいる。避難者の受入対応は適切であったか。</p> <p>(2) 赤井柳の目地域で、定川の津波遡上による影響と思われる道路側溝の水位が落ち蓋下面まで流れてきたことを市民からの通報で確認した。水門等の閉門は適切であったか。</p> <p>(3) 6月の防災訓練時に避難所でのポケットサインアプリ「みやぎ防災」を活用することになっていたが、実行状況はどうであったのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要 旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>2. 人口減少対策について</p>	<p>本市では、今年4月に市制施行20周年を迎えた。合併時の人口は、43,200人であったが、2011年の東日本大震災で4万人を割り、今年の8月末現在では、37,527人となり、人口減少が顕著となっている。今後、益々右肩下がり傾向が懸念される。</p> <p>人口減少対策については、本市の人口ビジョン・第2期総合戦略にもとづき、これまでも様々な取組を行っていることは承知しているが、今後の人口減少にどのように取り組んでいくのか、次の点について伺う。</p> <p>(1) 本年度で第2次総合計画が終わり、第3次総合計画を策定していく中で、人口減少対策をどのような方針で策定していくのか。</p> <p>(2) 結婚・出産・子育てに関する国民の希望は、国においても1つ1つ実現する方向で動いており、本市においても他の自治体をリードしていく政策を打ち出している。入り口である結婚促進について、どのように推し進めていく考えなのか。</p> <p>(3) 令和3年度に県で「みやマリ」というAIを使ったマッチングサービスを立ち上げ、7月末には210組の成婚が実現しているが、本市の状況はいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第6位</p> <p>土井 光正</p>	<p>3. 今夏の猛暑の影響について</p>	<p>今年の夏は、全国的にこれまでにない猛暑続きの夏となった。本市においても例外でなく、これまでに経験したことのない猛暑で、各方面にかなりの影響を及ぼしていると聞き及んでいる。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 本市の基幹産業である農業、漁業への影響をどのように把握し、今後どのように対応するのか。</p> <p>(2) 学校のプールは30度以上の気温と水温でプールに入れない状況であったと聞き及んでいる。今後、水泳授業をどのように進めていくのか。また、学校の体育の授業等の影響については、いかがか。</p> <p>(2) 猛暑やインフレで商品の値上げが相次ぐ中、生活に困窮している方が多くなっていると聞き及んでいる。今年の新米も、昨年より更に値上げの方向であるとも言われている。特に食べ盛りの子どもを持つ家庭では、主食である米の値段を抑えるために新米などは、ほど遠いと聞いている。基幹産業を農業としている本市において、物価高対策として国の重点支援地方交付金を利用した新米の供給を対象者を限定し行うことを提言するが、いかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第7位</p> <p>渡邊克己</p>	<p>1. 特別名勝松島の規制緩和について</p>	<p>近年、他の地域の方より宮戸地区に住みたいとの声を聞く。特に宮戸地区は規制が厳しく、現状変更にはさまざまな条件が設定されており、難しい対応が必要とされている。宮戸地区では、震災前の平成17年4月末の人口が1,079人に対し、震災後の令和7年6月末現在411人と62%減少しており、高齢化率も50.7%になっている状況である。</p> <p>また、宮戸・野蒜地区は、国際的な認定機関より「世界の持続可能な観光地トップ100選」に宮城県で初めて選出され、令和5年10月には、国連世界観光機関が認定する「ベスト・ツーリズム・ビレッジ2023」に認定されている地区である。</p> <p>しかし、このままでは、人口減少が進み、持続的な市民生活ができなくなってしまう。国及び県に対し規制緩和を働きかけることについて、市長の考えを伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第7位</p> <p>渡邊克己</p>	<p>2. 宮戸から野蒜駅間の交通環境の整備について</p>	<p>奥松島地域としての地域の足及び観光の足の確保並びに松島海岸から宮戸（あおみな）への定期観光遊覧船利用者の足の確保など、早期の交通環境の整備が必要と考える。そこで、旧鳴瀬地区の過疎対策事業債を活用して、交通環境の整備が出来ないか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第7位</p> <p>渡邊克己</p>	<p>3. 有害鳥獣駆除対策について</p>	<p>令和7年7月に行われた東松島市の農林水産業等の振興に関する要望会において、有害鳥獣駆除対策について要望を行った。</p> <p>要望内容は、有害鳥獣が農作物への被害に加え、人的被害等、市民生活や観光に重大な影響を及ぼすことが危惧されることから、宮城県においても、有害鳥獣駆除に万全の対策を講じるよう要望している。</p> <p>そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) 最近、市内において、クマ、イノシシ、ニホンジカ の目撃情報が多く寄せられているが、安全対策（通学路等）を含め、今後の対策をどのように進めて行くのか。</p> <p>(2) 各関係自治会との情報の共有をどのように図っていくのか。</p> <p>(3) 捕獲活動も含め、各関係自治会との勉強会などの実施は考えているか。</p> <p>(4) 個体数の把握及び管理はどのように進めていくのか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第8位</p> <p>井出方明</p>	<p>1. 新しい地方経済・生活環境創生交付金（いわゆる第2世代交付金）の活用について</p>	<p>デジタル田園都市国家構想交付金を引き継ぐ新しい地方経済・生活環境創生交付金いわゆる第2世代交付金は、国が自治体の自主性と創意工夫に基づいた地方創生に資する地域独自の取組を支援するものであり、ハードとソフトが一体となった事業も含め、支援される使い勝手の良い交付金である。本市の第2世代交付金に関する考えについて、市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 1次産業の振興、特に後継者問題を含めて、移住定住施策を推進するにも有効な補助金であると考えますが、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 第2世代交付金を受けるためには、基本計画の策定等が必要であるが、本市の目指す将来像及び課題の設定等を含めた計画策定に関する取組について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第8位</p> <p>井出方明</p>	<p>2. 核燃料税交付金について</p>	<p>政府は「原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法」に基づき、財政を支援する自治体を半径10kmから30km圏に拡大する方針を決定した。これを受け、市長もこの方針を評価するコメントを述べたことが報道されており、今後は道路、港湾や教育施設など「特定事業」にかかる国の補助率が増加し、地方振興策の推進が期待出来る。また、核燃料税交付金については市長の努力によって400万円から本年は1,000万円に上げられた事は評価する。</p> <p>しかし、先月、本市を視察に来た佐賀県伊万里市の議員との交流の場において、同様にUPZ圏内に位置する伊万里市は、1億7千万円もの交付金を受けている。この補助金の差に対する市長の考え及び今後の進め方について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第8位</p> <p>井出方明</p>	<p>3. 自衛隊松島基地との共存共栄及び連携について</p>	<p>自衛隊松島基地との共存共栄及び連携について、市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 道の駅東松島に展示予定のブルーインパルス機体の機体移設及び維持経費のクラウドファンディングの進捗が芳しくないようであるが、今後の見通し及び達成出来なかった場合の財源について伺う。また、設置方法について、様々な意見があるが、どの様に設置するのか伺う。</p> <p>(2) SNSでは、ブルーインパルスのコックピットから撮影された動画が配信されているが、前議会で質問した道の駅VRゴーグル体験映像を増やす件について伺う。</p> <p>(3) 7月に行われた米国主催訓練「レゾリュート・フォース・パシフィック」で行われた騒音測定の結果が公表されたが、その結果に対する市長の考えを伺う。</p> <p>(4) 市長の努力により、特定防衛施設周辺整備調整交付金等が令和6年度は4千万円ほど増額され、市民の福祉等について役立っている。今後の見通し及び今後の基地内施設工事による東松島市経済への影響について、市長の見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第9位</p> <p>千葉 信哉</p>	<p>1. 浜市漁港について</p>	<p>東日本大震災以降、浜市漁港内への砂の流入を防ぐために作られた砂州であるが、高潮のたび、沖合の砂が砂州を超えて流れ込むため、超えた沖の砂が鳴瀬川上流方向へと広がり、航路を塞ぐ形になっている。今現在は航行可能であるが、今後、台風や豪雨があればすぐ砂の流入により安全な航行が危ぶまれる状況にある。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 第一種漁港たる当港の機能を保全し、漁業者の生活基盤を守ることは管理者である本市の責務と考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 浜市漁港が面する北上運河に滞積する砂の浚渫工事の現状及び今後の見通しについて伺う。</p> <p>(3) 台風シーズンを迎え、当港を利用する漁業者は不安を募らせているが、嵐後、復旧に向けた対応は、どの程度迅速にできるのか。</p> <p>(4) 干潮時になると河口付近で広範囲にわたり水が引くため、シジミ採り等、水遊びに訪れる人が多くいるが、誰もライフジャケット等の着用の安全対策がなされていない。市として彼らに対し、注意喚起ができないものか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>千葉 信哉</p>	<p>2. 滝山公園について</p>	<p>開業以来、多くの来訪者を集めている道の駅東松島であるが、その持続的な運営には最も近隣に位置する滝山公園の観光開発が必要不可欠と考える。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 公園内に植えられているツツジだが、ササやツタに絡まれ見苦しくなっている。周りの草はきれいに刈られているので、ツツジの手入れもできないものか。</p> <p>(2) 10年前ドラマの舞台になったときは頂上から市内が一望できたが、今現在頂上付近の木が大きくなりすぎて決して見晴らしがいいとは言えない状態である。せっかくの景観が台無しであるので、多少の伐採を試みてはどうか。</p> <p>(3) 将来的には、福島の花見山公園のような四季折々の草花が楽しめる花の名所になってもらいたいものだが、今後の植樹等、公園整備の計画について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>千葉 信哉</p>	<p>3. 夜間のバイクの騒音について</p>	<p>週末深夜になるとマフラー等を不正改造したと思われるバイクが道の駅周辺に現れ、地域住民の安眠を妨げている。宮城県の定める暴走族根絶の促進に関する条例では、市町村の責務として「地域の実情に応じた暴走族根絶の促進に関する施策を策定し、これを実施するものとする」とあるが、本市では、どのような施策がなされているのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第10位</p> <p>大橋博之</p>	<p>1. 読書立国という言葉について</p>	<p>私が愛読している「致知」という月刊誌の中で大きく取り上げられていたのが、読書立国というテーマであった。デジタル分野の普及・SNSの日常化による活字離れ、書店減少、読書文化の衰退により、日本社会は大きく変化してきている。特に成長期の子どもたちに対しての教育分野の影響を心配する評論が多く論じられている。</p> <p>本市でも、読書についてはしっかりと取り組まれていると聞いている。現在の状況と今後の取組について、教育長の所見を伺う。</p> <p>(1) 読書により学力向上につながると思うか。特に読解力・語彙力への効果は。</p> <p>(2) 古典・歴史書・論語等を取り入れ成果を上げている学校関係について、どう考えるか。</p> <p>(3) デジタル端末を利用する時間が長いほど脳の発達が阻害されるという論文が出ている点について。</p> <p>(4) 読書というアナログ授業を増やすことは可能か。</p> <p>(5) 幼児に教育の効果があるという絵本の読み聞かせへの考えはどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第11位</p> <p>阿部秀太</p>	<p>1. 保育事業について問う</p>	<p>市長は、令和7年第2回定例会の会派代表質問の答弁において、新たに「公立保育サービス在り方検討会議」を設置し、速やかに検討するとした。その中で、会議の構成、協議内容、財源、施設や出生数などの背景について触れ、統廃合及び民間保育園への移行を含め、今後の保育需要の把握に努めながら、行財政改革の観点からも、速やかに検討する必要があるとした。</p> <p>以上については大きな政策課題であり、市長の言う“選ばれるまち”に資するよう配慮し、進めるべきと思慮するところである。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 「公立保育サービス在り方検討会議」の協議内容や道筋について伺う。その際、市民や保護者の声に加え、議会との連携・協議の場をどのように設けるのか伺う。併せて、速やかに検討することの必要性について伺う。</p> <p>(2) 子育て世代に選ばれるまちとして、保育環境の充実があげられる。その意味では、公立か私立かという器の議論に終始せず、学童保育等をも含めすべての保育事業を見渡して、子どもの育ちを真ん中にした、多様でより質の高い、保育事業の全体像について検討すべきと考えるが、いかがか。</p> <p>(3) 幼保小連携について、具体的な取り組み状況とその方向性について伺う。</p> <p>また、海外では、小学校に入る前の1年間「プリスクール」と呼ばれる小学校に入る準備期間があるというが、そのような制度導入への可能性を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>熱海 千鶴</p>	<p>1. 小中学校のプール利用と水泳指導等について</p>	<p>近年続く猛暑により、小中学校のプールを利用した水泳授業や夏休みのプール利用が中止になっている。中止とする基準として環境省が示す暑さ指数（WBGT）が31以上でプール授業は原則中止。また、水温と気温を足した温度が65度以上の場合も熱中症のリスクが高まることから中止とされている。そこで、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本市内11の小中学校での今年のプール利用日数（授業日）と夏休み中のプール利用状況について伺う。</p> <p>(2) 7月、8月の暑い時期のプールの指導が実施できないのであれば、5月、6月、9月、10月などに時期をずらしてプールの指導を実施することはできないのか。</p> <p>(3) 本市でも8月に学校のプールを利用せず、「ゆふと」を利用したと伺っているが、その利用状況について伺う。 また、今後の学校プールの利用と老朽化したプールの建て替えについても考え方を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>熱海 千鶴</p>	<p>2.「道の駅東松島」の営業状況と更なる利用者を増やす施策について</p>	<p>昨年11月に開業し、2月に来場者30万人も達成し、順調な滑り出しの道の駅であるが、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 道の駅が開業し9か月が過ぎたが、当初目標に対する営業状況について。</p> <p>(ア) 来場者数</p> <p>(イ) 1階物販の営業状況</p> <p>(ウ) 2階食堂等の営業状況</p> <p>(エ) 1階軽食(あおばずんだ本舗・珈琲工房いしかわ)の営業状況</p> <p>(オ) VR体験の営業状況</p> <p>(カ) 売上実績に対する市内事業者等の割合</p> <p>(キ) 当初計画時と現在までの経営の中で、課題(改善点)等に対し、どう対応しているのか。</p> <p>(2) 2階フードコート「キッチン颯」を利用した方々から、提供しているメニューに、もっと東松島市の特産品を利用したメニューがあったり、味の工夫があったりすれば更に良くなるという声を耳にする。お店の雰囲気や接客は高く評価されているだけに、メニューや味の改善は、来場者の満足度向上やリピーターの増加にもつながると考えるが、市として「キッチン颯」への研修や情報提供など、アドバイスが必要と考えるが、いかがか。</p> <p>(3) 近年ではペットを連れて旅行やドライブをする人も多くなってきている。道の駅の一角にドッグランを作ることで、ペットを連れて長距離旅行やドライブの利用者を増やせると考えられるが、ドッグラン施設の整備について伺う。</p> <p>(4) 市長の所信表明の中で、三陸道下り線矢本PAから道の駅東松島へ連絡通路の設置を国に要望しているところがあるが、その後の経過について伺う。</p> <p>(5) 道の駅東松島には、一般道から入る南側駐車場と三陸道から入る北側駐車場があるが、南北駐車場を交互に通過できないかとの声も聞かれるが、一般道南側駐車場と三陸道北側の駐車場の交互交通について伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第13位</p> <p>櫻井政文</p>	<p>1. 市制施行20周年の議会史への予算付けはいかに</p>	<p>東松島市史の編纂が現在、進行中でまもなく刊行に至ると仄聞している。行政と市民一体で取り組んでいることに敬意を表したい。</p> <p>一方、二元代表である議会20年史がいまだ取組の兆しが見えないのは、残念な気がする。いずれ議会史編纂をするにしてもその節には予算付けが必要となる。</p> <p>この冊子はある引退議員からお借りしたもので、矢本町から市制に移行した時に手作りされたものである。引退された先輩議員や関係者の方々の知恵を借りながら手作りすれば、少ない経費で済むと思われる。</p> <p>この件に関しての市長の見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第13位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>2. 子ども・若者支援策について</p>	<p>先般、会派研修視察で、大田区子ども・若者総合相談センター事業大田区若者サポートセンター「ふらっとおおた」の取組について学んできた。</p> <p>この事業は、子ども・若者育成支援推進法に基づき、令和4年に事業が開始された。様々な困難を抱える概ね15歳から39歳までの子ども・若者及び家族を対象として、電話、メールや対面での相談に応じる総合窓口を設置している。</p> <p>仕事や心身の健康、人間関係、進学や勉強、生活面、経済面など、あらゆる悩みを相談することができ、それぞれの専門家が対応している。</p> <p>また、家でも学校でもない第3の居場所支援も同時に行い、子どもや若者が気軽に立ち寄れるフリースペースも提供している。</p> <p>居場所支援のプログラムには、地域イベントの参加や部活動の実施、スポーツ大会などがあり、交流の場を設けている。</p> <p>コロナ禍があり、デジタルに依存しがちで、交流や社会参加の機会が少ない若者世代にスポット宛てた取組は、行政の問題意識の高さを感じた。</p> <p>また、この大田区の取組は、不登校や障害者、ひきこもり問題等の改善に繋がるとも考えられる。若者の社会的自立を促すこの事業であるが、本市で導入についての可能性はどうか、市長の見解を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第13位</p> <p>櫻井 正文</p>	<p>3. 小・中学校の学力低下対策を問う</p>	<p>令和7年度全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）の結果、宮城県は全科目中、中学校で数学、小学校で全科目が全国平均を下回ったと8月5日県教委から報告があったことは周知のとおりである。</p> <p>この件は本年のみならず、このところ数年、学力低下の傾向にあると聞いている。様々な要因が考えられるが、その一因として、特に宮城県ではスマホやタブレットを遊びの方で使用する時間が長いとの分析もある。</p> <p>本市ではかねてより、デジタルメディアコントロールの施策を実施してきているが、その効果も含め、以下の質問をする。</p> <p>(1) この結果を踏まえての県教委での分析と対策及び県内各市町村教委への指示対策について</p> <p>(2) 本市教委としての今後の対応について</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第14位</p> <p>福田 敬一</p>	<p>1. ブルーインパルス退役機設置について</p>	<p>ブルーインパルス退役機を道の駅に移動・設置するための費用をクラウドファンディング型ふるさと納税の寄附金にて賄うという、画期的なアイデアは大変素晴らしく、成功すればさらなる道の駅の来場者増加を見込めるものであり、増加した来場者が市内へと足を運んでくれることで、地域経済の活性化にもつながるものと考えられる。そこで以下の5点について伺う。</p> <p>(1) 7月3日から始まったクラウドファンディング型ふるさと納税の現在までの達成状況について。</p> <p>(2) 今回のプロジェクトの費用（退役機移動代、設置代、銘板代及び年間維持費）について。</p> <p>(3) プロジェクト期間が9月30日までとなっているが、目標金額に届かない場合の対応はいかに。</p> <p>(4) ブルーインパルス退役機を道の駅に設置した場合の月間及び年間の来場者数並びに売上額の増加をどれくらい見込んでいるのか。</p> <p>(5) プロジェクト成功により道の駅の来場者数は増加すると思われるが、道の駅から東松島市内各所に足を運びたいと思われる企画や場所がなければ、地域経済の活性化までにはつながらないと思われる。来場者が市内各所に足を運びたいと思われる構想を伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第14位</p> <p>福田 敬一</p>	<p>2. 東松島夏まつり及び松島基地航空祭について</p>	<p>8月末に行われた東松島夏まつり及び松島基地航空祭は東松島市におけるイベントの中でも特に重要なイベントであり、この2日間は市内が最大限に活気づき、市外、県外から沢山の人が訪れ、市内の地域経済の活性化及びPRをするチャンスであると考えられる。そのため東松島市と松島基地及び市民が一体となり、今後も作り上げていかなくてはならないイベントと考える。</p> <p>また、夏まつりに来場した人数は約2万5千人、航空祭では基地内に来場した人数が約4万人と報道されており、自治体及び航空自衛隊並びに各団体が様々な対応をとられていたが、路上駐車や三陸沿岸自動車道路へと繋がる市内道路の渋滞が見受けられ、市内在住者の行動が制限される場面もあり、市民の理解を求めることが大切と考えられる。そこで、以下の4点について伺う。</p> <p>(1) 2日間における市内の経済効果について、調査を行っているのか。行っている場合の経済効果はいかに。</p> <p>(2) 夏まつり・航空祭に自治体としてどのようにかかわっているのか。また、今後どのようにかかわっていくのか。</p> <p>(3) 路上駐車、交通渋滞、熱中症及び基地内へ入場する際の待ち時間など様々な問題があると考えられるが、自治体として考える問題点・改善点・対策はいかに。</p> <p>(4) 子供達の鼓笛隊がここ数年、熱中症を危惧し、中止とされているため、今年は市長の考えなどもあり、夏まつり実行委員会や商工会青年部の協力を得て子供の綱引き大会を開催し、大いに盛り上がりを見せた。今後も気温が高い年は続くと思われる中、子供たちの思い出を作る大事な場をどのように考えているのか伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>